



PRESS RELEASE

令和 5 年 9 月 2 9 日

中央西日本遺伝性腫瘍コホート研究シンポジウム開催のご案内

がんの約 1 割は遺伝因子によって生じることが知られており、一般に「遺伝性腫瘍」と呼びます。遺伝性腫瘍の原因遺伝子を調べることで、がん予防に活用できる場合があるものの、日本人のデータは十分ではありません。2020 年 12 月より、岡山大学病院を含む中国・四国地方の施設と協力して遺伝性腫瘍に対する取組みとして、「中央西日本遺伝性腫瘍コホート研究」がスタートしました。我が国におけるがん予防に係るエビデンスを発信し、国民の健康管理に役立てることを目指しています。この度 2023 年 10 月 9 日（月）にシンポジウムを開催しますのでご案内致します。

■開催概要

名称：中央西日本遺伝性腫瘍コホート研究シンポジウム

日時：2023 年 10 月 9 日（月・祝）13:30～16:00

場所：岡山大学 津島キャンパス 共育共創コモンズ

開催形式：現地会場 300 席およびウェビナー

参加費：無料（医療者だけでなくどなたでもご参加いただけます）

申込方法：下記 URL からお申込みください。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_s6LNfCrwT6eHRd6rS4XX_A

■講演内容

・開会の挨拶

平沢 晃（岡山大学学術研究院医歯薬学域 臨床遺伝子医療学分野）

第 1 部

座長：那須 保友（岡山大学学長）

・遺伝情報を知ることで救える命をがんから守る

中村 祐輔（国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所）

第 2 部

座長：前田 嘉信（岡山大学病院長・岡山大学学術研究院医歯薬学域 血液・腫瘍・呼吸器内科学）

・遺伝性腫瘍症候群の多遺伝子パネル検査（MGPT）の米国における現状と課題

三戸 芳子（マウントサイナイ医科大学遺伝ゲノム科）

・遺伝性腫瘍に見られる VUS に対する多次元機能的アノテーション

細野 祥之（岡山大学学術研究院医歯薬学域 薬理学）

・遺伝性腫瘍における健康管理支援ツールの開発～当事者のお守りアプリを目指して～

藤田 裕子（姫路赤十字病院）

山下 範之（岡山大学医療教育センター）



PRESS RELEASE

主催：岡山大学学術研究院医歯薬学域臨床遺伝子医療学分野／中央西日本遺伝性腫瘍コホート
研究グループ／NPO 法人せとうち臨床遺伝研究会

第1部：共催 ミリアド・ジェネティクス合同会社

第2部：AMED 令和5年度ゲノム創薬基盤推進研究事業「遺伝性腫瘍に見られるVUSに対する、
包括的 in VIVO スクリーニングと in silico 構造解析を融合した高精度機能的アノテーション
（研究開発代表者：細野 祥之）

協賛：（順不同）ラボコープ・ジャパン合同会社／フィンガルリンク株式会社／
アクトメッド株式会社／コニカミノルタ REALM 株式会社／
株式会社ファルコバイオシステムズ／シスメックス株式会社

◆研究者からのひとこと

平沢 晃（岡山大学学術研究院医歯薬学域 臨床遺伝子医療学分野）
国内外の医療者や研究者をお招きし、最新の情報も交えながらご講演
いただく予定です。臨床研究や実践は、医療者や研究者だけでなく当
事者の方々の参画により、充実していきます。医療者だけでなく、多
くの皆さまと本シンポジウムの内容を共有できればと思っています。



平沢 晃 教授

<お問い合わせ>

岡山大学学術研究院医歯薬学域

臨床遺伝子医療学分野

助教 深野 智華

（電話番号）086-235-7414（代表）

（メール）cfukano@okayama-u.ac.jp



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。